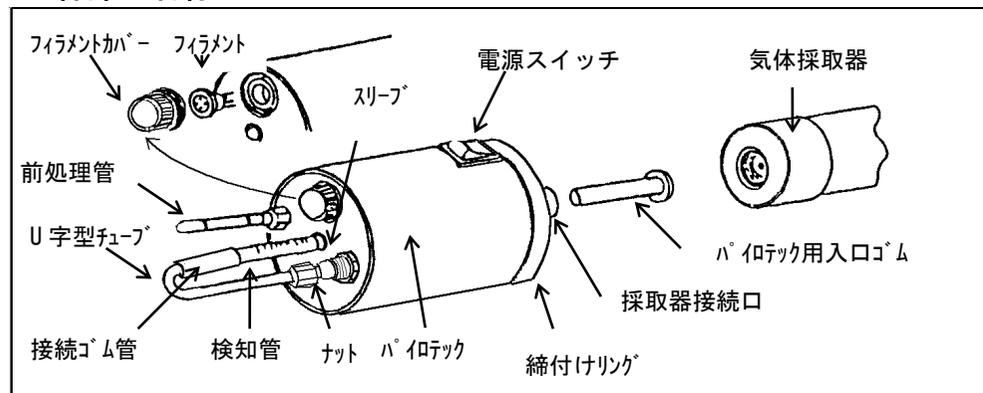


## 1. 概要

パイロテックは、化学的に安定で従来の検知管方式では測定できなかったフッ化スルフリルなどのハロゲン化物を熱分解して、測定しやすいガスに変換した後に、気体採取器を用いて検知管で測定します。

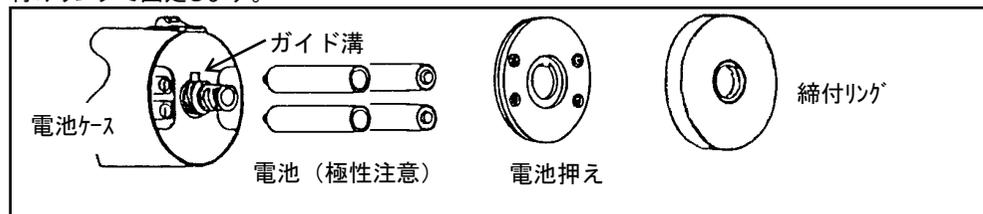
## 2. 各部の名称



## 3. 使用方法

### (1) 乾電池の入れ方

電源スイッチを OFF にしてから、締付けリングを外します。新しい電池を電池ケース内のラベルに従って入れます。電池を入れたら採取器接続口のガイド溝に沿って電池押えをあてがい、締付けリングで固定します。



### △注意

電池の極性を正しく挿入してください。極性を間違っていると本体と電池が高温になり、やけどや故障のおそれがあります。電池を交換した場合は、電源スイッチを ON にして、ランプが点灯することで電池が正常に挿入されていることを確認してください。

### (2) パイロテックと気体採取器の接続

気体採取器の空気漏れのチェックをし、漏れの無い事を確認します。気体採取器のインレットゴムと入り口ナットを外します。取り外したインレットゴムと入り口ナットをパイロテックの前処理管挿入口に付け替えます。パイロテック用入り口ゴムをはさんでパイロテックの採取器接続口を気体採取器に接続します。

### (3) 電源を入れる

電源スイッチを ON にするとスイッチ内蔵のランプが点灯します。点灯と同時にフィラメントが暖められますが測定には2分間の安定時間が必要です。(点灯しない場合は4.保守点検を参照してください)

### (4) 検知管の接続

付属のスリーブとナットを用いてU字型チューブをパイロテックに接続します。前処理管及び検知管の両端をカットします。前処理管の矢印(G)がパイロテックに向くように前処理管挿入口に差し込みます。続いて、検知管の矢印(G)がパイロテックに向くように中央の検知管挿入口に差し込みます。U字型チューブの先端と検知管の先端を付属の接続ゴム管を用いてつなぎます。

### (5) 測定

気体採取器のハンドルを完全に押し込んで、シリンダー内部の空気をゼロにしてから、シリンダーとシャフトのガイドマークを合せ、ハンドルを一気に最後まで引き、固定します。

所定の吸引時間(1回の吸引時間)が経過した後、ハンドルを90度回転し、ハンドルが戻らない事を確認します。確認ができれば、ハンドルをそのまま押し込み戻します。(1回の吸引時間は、各検知管の取扱説明書に記載されています。吸引回数が2回以上の場合は、所定の回数を繰り返してください。)所定の吸引回数が終わったら、検知管の変色層先端を読み取ります。

### (6) ガスの置換

測定終了後、前処理管を取り外し検知管と付属の除去管を入れ替えます。パイロテックの電源スイッチを入れたまま、清浄空气中で20回ハンドルを引いて吸引しパイロテック経路内の残留ガスを除去します。

### (7) 電源を切る

電源スイッチを OFF にして、ランプが消えている事を確認します。

## 4. 保守点検

・電源スイッチを入れてもランプが点灯しない時は以下の事が考えられます。(1)以外はメーカーへお問い合わせください。

- (1)電池の入れ方が悪いが、消耗している。
- (2)フィラメントが断線している。
- (3)電気回路が故障している。

・フィラメント寿命は20ppmのフッ化スルフリル 約1,000回分測定です。フィラメントの触媒部が白く変色していたらフィラメントを交換してください。

## 5. 仕様

品名	:パイロテック
型式	:Cat.No.860
電池寿命	:単3形アルカリ乾電池で約2時間(20℃以上)
フィラメント寿命	:20ppmのフッ化スルフリルの約1,000回分測定
暖機時間	:2分間
使用温度範囲	:0~40℃
形状	:直径 約68mm, 長さ150mm
重量	:290g(乾電池4本含む)
電源	:単3形アルカリ乾電池4本
標準付属品	:単3形アルカリ乾電池4本 U字型チューブ1本, 接続ゴム管1本, スリーブ1個, ナット1個 取扱説明書(本書)

# パイロテック 型式 860 取扱説明書

**ご使用前に、本書、気体採取器および検知管の取扱説明書をお読みください。**

本書では、本製品を安全に使用する上での注意事項を、危険や損害の大きさと切迫の程度に応じて次のように区分しシンボルマークとともに示しています。いずれも、ご使用になる方や他の人の安全に関わる重大な内容です。本製品を安全にご使用いただくために、本書および製品本体に示された注意事項を必ずお守りください。

	<b>危険</b> 使用者が死亡または重傷を負う可能性が高いことを意味します。
	<b>注意</b> 使用者が軽傷を負う恐れがあることを意味します。
	<b>注記</b> 本製品の故障防止など、正しくお使いいただくためのアドバイスを意味します。

- 危険**
  - 本製品は防爆構造ではありません。本製品が着火源になることがあります。可燃性ガスがある場所では、使用前に爆発下限濃度以下であることを確認してください。
  - 電池のセットと交換は、可燃性ガスがある場所では行わないでください。本製品が着火源になることがあります。
- 注意**
  - 電池の極性を正しく挿入してください。極性を間違えて挿入すると本体と電池が高温になり、やけどや故障のおそれがあります。電池を交換した場合は、電源スイッチをONにして、ランプが点灯することで電池が正常に挿入されていることを確認してください。
- 注記**
  - 使用温度範囲外、高湿度、水、ほこり、急激な温度変化や強い衝撃を避けてください。通気経路の気密性が損なわれたり、電気回路が故障する恐れがあります。
  - 本製品を分解や改造をしないでください。通気経路の気密性が損なわれたり、電気回路が故障する恐れがあります。

## 株式会社 ガステック

〒252-1195 神奈川県綾瀬市深谷中 8-8-6

TEL(0467)79-3911